

原稿制作・印刷時の注意点

■紙(紙厚)の選択

- 75・65・54mmφのバッジを作る場合
アートポスト紙 四ノ六判(788×1,091mm)……160kg~180kg
菊判(639×939mm)……………111kg~125kg

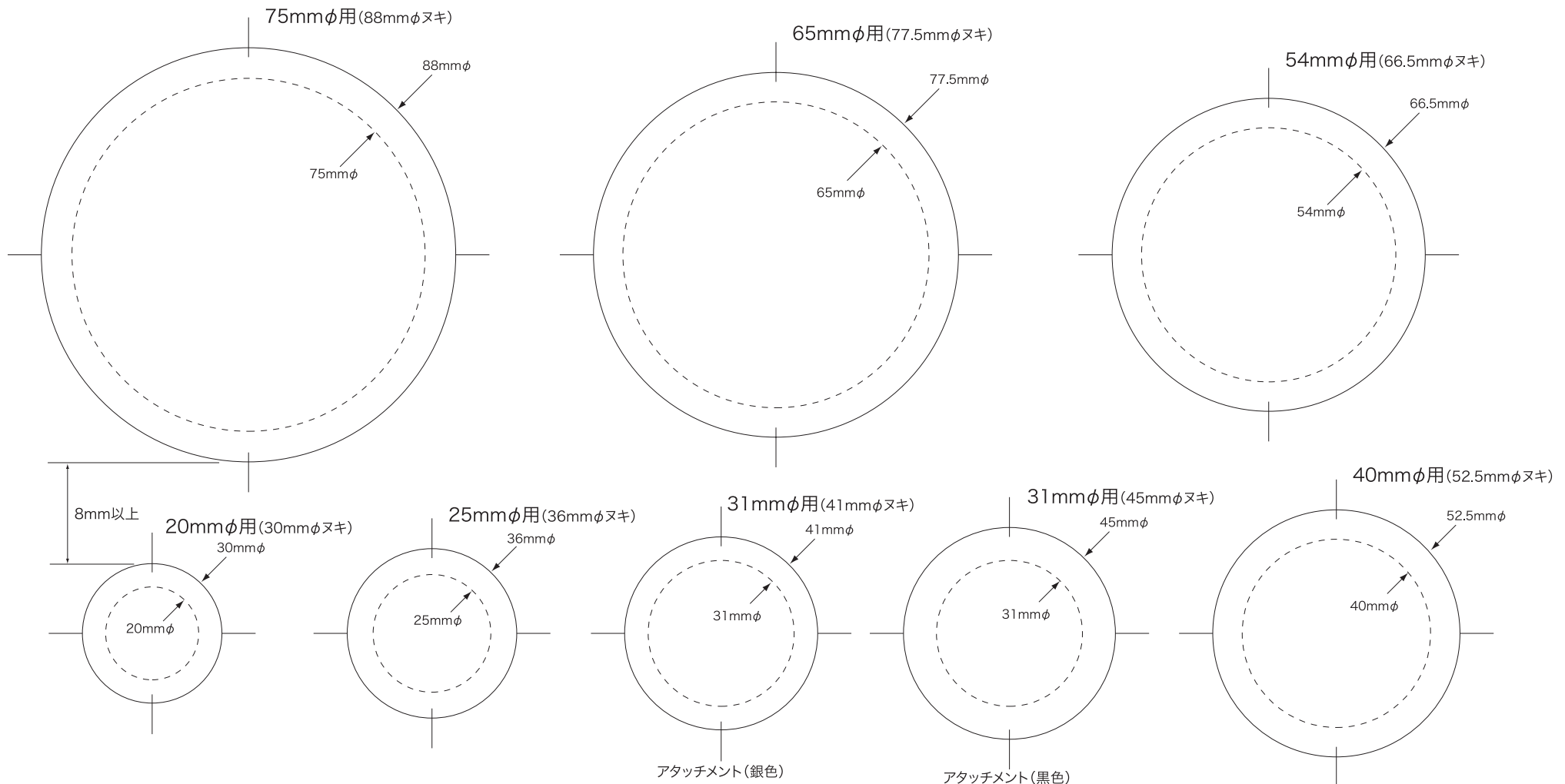
- 40・31・25・20mmφのバッジを作る場合
アートポスト紙 四ノ六判(788×1,091mm) ……135kg
菊判(639×939mm) ……………93.5kg

上記の紙を使用していただければきれいなバッジができます。

- カラープリンター出力の場合
薄口用の紙の場合は感嘆に上ボタンと下ボタンが抜けてしまう場合があります。
この場合は必ず紙を1枚原稿と上ボタンの間にはさんでプレスして下さい。

■版下・印刷について

- ①バッジの印刷寸法(抜き寸法)
バッジを作る場合実際のバッジ寸法のほかに巻きしろ寸法がプラスされます。(下図参照)
- ②下図のようにバッジの外円(実線)と外円(実線)との間隔を最低8mm以上とってください。
- ③下図のように外円(実線)の天地のところに外円(実線)から内へ2mm程トンボ(天地)の線を上下に入れてください。※後にバッジを作る時の基準となる線ですので、必ず入れてください。
- ④印刷する場合には外円は実線で印刷してください。紙を抜く時の基準となります。
(下図の内円(点線)は印刷しないでください)



原稿制作の注意点

■紙（紙厚）の選択

●印刷の場合

アートポスト紙 四/六判 (788×1,091mm) …… 160kg~180kg
菊判 (639×939mm) …………… 111kg~125kg

●カラープリンター出力の場合

薄口用の紙の場合は簡単に上ボタンと下ボタンが抜けてしまう場合があります。
この場合は必ず紙を1枚原稿と上ボタンの間にはさんでプレスして下さい。
(ページ3の※1を参照して下さい)

■原稿制作について

- ①バッジを作る場合実際のバッジ寸法のほかに巻きしろ寸法がプラスされます。(右図参照)
- ②右図のように外円(実線)の天地のところに外円(実線)から内へ2mm程トンボ(天地)の線を上下に入れてください。後にバッジを作る時の天地の基準となる線です。
- ③印刷する場合には外円は実線で印刷してください。紙を抜く時の基準となります。
(右図の内円(点線)は印刷しないでください)

